



野尻哲史と考える！ 殖やした後の減らし方

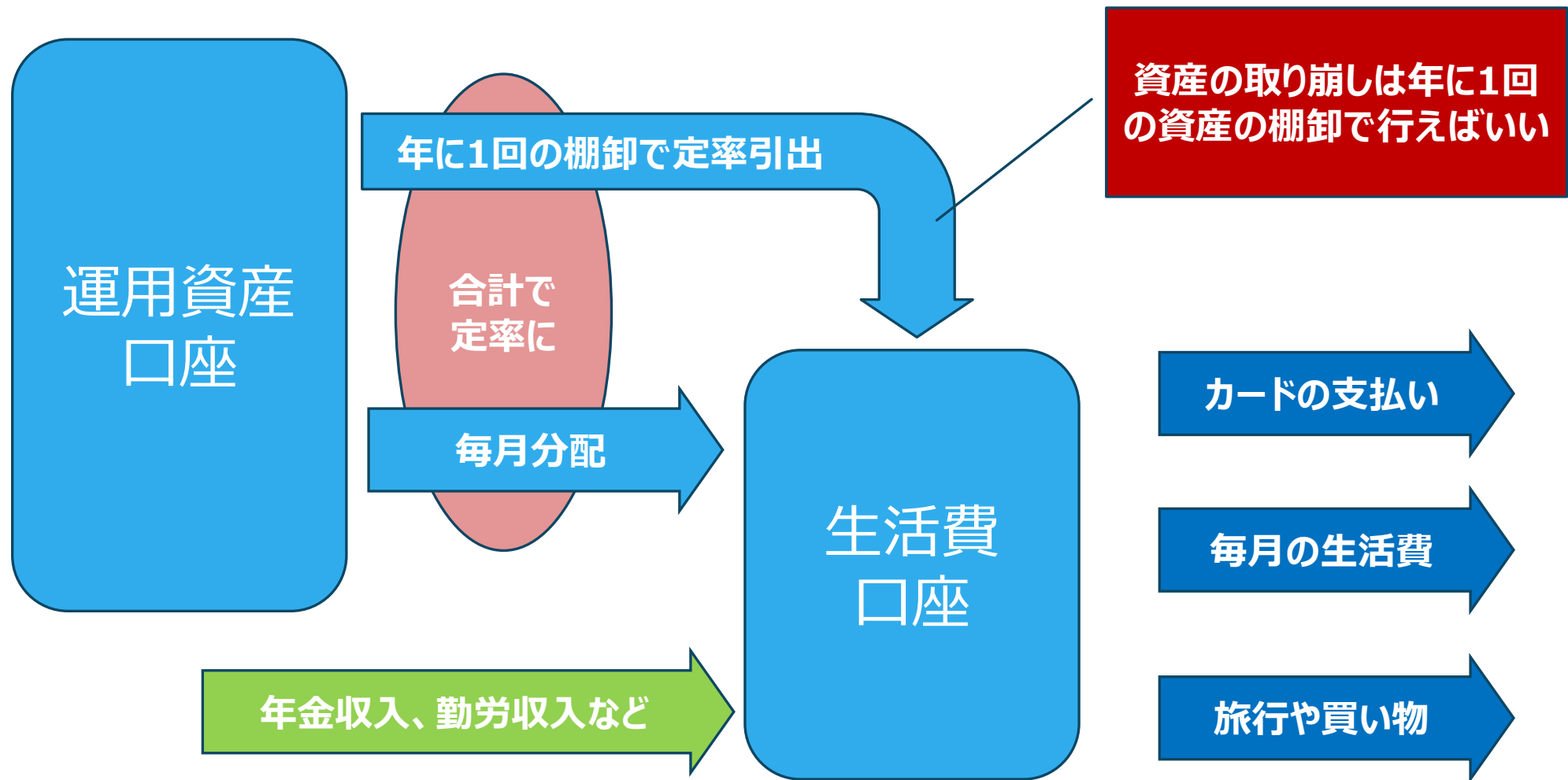
第16回
資産の取り崩しにおける投資信託の有効性

2026年7月17日

合同会社フィンウェル研究所

代表 野尻哲史

取り崩しに、毎月分配型投信の分配金はどう使う？



投資信託で年率3%の運用はどれくらいの可能性でできるだろうか

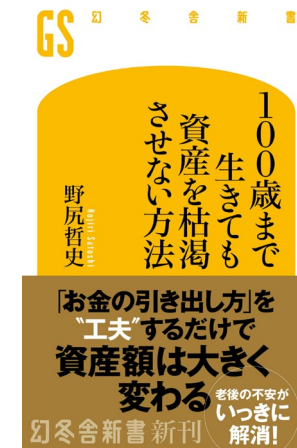
投資信託はどれくらいの運用成績か？

いずれかの金融機関で 購入できる投資信託の 総本数はどれくらいあるか？	あなたの予想は？ 本	実際は？ 本
そのうち10年以上の 運用実績がある投資信託は どれくらいあるか？	あなたの予想は？ 本	実際は？ 本
そのうち直近10年の 年率換算収益率が3.0% 以上の投資信託は どれくらいあるか？	あなたの予想は？ 本	実際は？ 本 (%)

注) 日本経済新聞社「投信サーチ」で検索した結果。2026年7月15日現在。今後の予測を述べるものではありません。

自己紹介

- 野尻哲史 合同会社フィンウェル研究所代表
HPは<https://www.finwell.co.jp>
無料メルマガ登録は<https://www.finwell.co.jp/mail-magazine/>
- 定年を機に、2019年5月に合同会社フィンウェル研究所を立ち上げ、代表に。資産の取り崩し、地方都市移住、雇用継続などの退職後の生活に関する提言を行っている。著書に『100歳まで残す 資産「使い切り」実践法』（日本経済新聞出版）、『60歳からの資産「使い切り」法』（日本経済新聞出版）、『100歳まで生きても資産を枯渇させない方法』（幻冬舎）など多数。
- 合同会社フィンウェル研究所は、「高齢者が安心して資産活用できる超高齢社会を目指す」ことを念頭にThought Leadership活動を行っている。



重要事項

- 当該資料は信頼できる情報、データをもとに合同会社フィンウェル研究所が作成しておりますが、正確性・完全性に関して当社が保証するものではありません。
- 当該資料に記載された情報、意見は作成時点のものであり、その後の情勢の変化などによって予告なく変更することがあります。
- いずれの情報、データ、意見は将来の傾向などを保証もしくは示唆するものではありません。
- 当該資料に係る一切の権利は引用部分を除いて弊社に所属し、いかなる目的であれ当該資料の一部または全部の無断での使用・複製は固くお断りします。

合同会社フィンウェル研究所